



【令和3年度要求額 56百万円（64百万円）】

官民が連携して循環経済に関する取組を推進し、国際的な議論をリードします。

1. 事業目的

- ① 循環経済に関する世界的な議論をリードするほか、日中韓においても循環経済等の議論を深める。
- ② CEチャレンジプロジェクト推進、国際標準化の議論への貢献により、循環経済に関する国際的な議論をリードする。
- ③ プラスチック廃棄物関連データの収集を支援することで、途上国の海洋プラスチックごみ対策の実効性を高める。

2. 事業内容

(1) 循環経済構築調査・検討

UNEP国際資源パネル（UNEP IRP）やOECD資源生産性・廃棄物作業部会（OECD WPRPW）での資源効率性に関する国際的な議論をリードする。
日中韓循環型社会構築推進事業を実施し、セミナー等で循環経済も含めた知見の共有・議論を行う。

(2) 循環経済構築推進事業

循環経済に係る野心的な目標を掲げる企業の取組等を促進するCEチャレンジプロジェクトを推進する。また、循環経済に関する国際標準化の議論に、我が国の取組や技術情報を積極的にインプットする。

(3) プラスチック廃棄物関連データ収集支援事業

G20海洋プラスチックごみ対策実施枠組を踏まえ、アジア各国に対して廃棄物の発生量、適正処分量などのデータの収集・整理に関する能力構築支援を行い、海洋プラスチックごみ対策を推進する。

3. 事業スキーム

- 事業形態 請負事業
- 請負先 民間事業者・団体
- 実施期間 平成21年度～

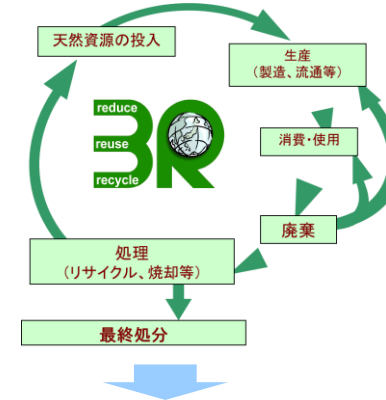
4. 事業イメージ

(1) 循環経済構築に関する調査・検討



(2) 循環経済構築推進事業

CEチャレンジによる企業の野心的な取組の推進



国際標準化の議論にインプット

(3) プラスチック廃棄物関連データ収集支援事業

G20実施枠組のデータ収集支援

